

校長室より

令和4年4月19日

南の風

令和4年4月号



学校教育目標「自ら考え判断し表現する子」

めざす児童像「自ら考える子 自ら判断する子 自ら表現する子」

☆今年の最重点目標「自ら考え判断し表現する力を育てる教育課程を創る」

☆スローガン「あいさつとお掃除とお花の学校」

風早南部小学校長 城川 早苗

295名・35名でスタートです

5日に始業式、11日に入学式が行われ、令和4年度は児童295名職員35名のスタートとなりました。始業式にはこれから1年間一緒にがんばっていきましようとの思いがいっぱい感じられる学級開きや学年開きが行われました。ゲームを取り入れ、楽しく交流をしている学年もありました。



本校は、令和4年度に150周年を迎えます。秋には柏市教育委員会より「みんなでつくる魅力ある学校」に指定され、他校の先生方が授業を参観される機会をいただいております。この機会を活用し教職員の授業力向上と地域とともにある学校作りに励んで参りますので、ご協力よろしくお願いいたします。

理科専科の先生



今年度より本校に理科専科が配置されました。今までは担任が授業をし、理科支援員がお手伝いという形での学習形態でしたが、今年度は理科専科の先生が授業を行い、成績をつけます。残念ながら、3・4年のみとなりますが、さっそく授業が始まっています。たくさんの先生から教えてもらう機会が増えたことが子どもたちの成長につながっていくと思います。

かわいい1年生

先週まで1年生は、先生たちに付き添われて下校をしていました。私はオレンジコースの担当でした。オレンジコースで下校する子どもは少ないのですが、それだけにたくさん話ができます。一緒に歩いていると様々なことに興味を持っていて話を聞くのが楽しかったです。たとえば道路の脇に大きな同じトラックが3台停まっていると「どうして停まっているのかな？」と課題を見つけ「多分長距離を走ってきたから、タイヤが熱を持ってしまって冷やしているのでは」と自分の考えを話し始めました。そして次の日には「昨日のトラックは荷物を運ぶ時間を調節していたんだよ。」と答えを見つけていました。「どうしてわかったの？」と聞くと「お母さんが教えてくれた」課題を見つけ、自分で考え、わからなかったら調べたり、聞いたりするというサイクルが見られました。この姿が学校教育目標である「自ら考え判断し表現する子」だと思いました。まさに風南小が目指す子どもの姿です。



1年生は、18日から給食と清掃が始まりました。びっくりするくらいよくできていました。給食の配膳も清掃のワイパー拭きもすでに経験している1年生が多く、スムーズに行っていました。6年生もお手伝いに来ていました。すぐに手をかさず1年生ができるところはやらせたり、困っているところは一緒にやったりしていました。さすが6年生ですね。



学級のなかに会社がある

6年1組の教室です。係活動を会社として考えるという取り組みがおもしろいので紹介します。会社を大きく成長するためには、戦略が必要です。リーダーとなる社長は、会社を成長させるために社員とともにアイデアを出し合います。どんな会社があるかというと「パーリーピーポー計画会社」(レク係)「湯浅宅配会社(配り係)」「スターピー新聞株式会社」(新聞係)「(株)日本体育会社」(体育係)等々。ネーミングも楽しいですね。意欲的な活動に期待大です。

※22日は、授業参観・懇談会が予定されています。保護者1名となりますが子どもたちの学習の様子を是非参観ください。